

わたしのすきな絵本

「今月の一冊 ～わたしのすきな絵本～」(7月)

<ご紹介者>

矢祭町長 佐川 正一郎

矢祭町子ども読書の街づくり推進委員会委員長



『雲のてんらん会』

いせ ひでこ 作・絵 / 講談社

対象：幼児から高齢者まで



新装版



内容のご紹介

今年も梅雨が明け、暑い夏を迎えています。夏に紹介する絵本の中で、今回は、いせひでこ先生の“雲のてんらん会”です。

空という無限のキャンバスにたくさんの雲が描かれています。

私達も何処となく毎日空を見上げていますが、快晴の時の雲や、雨が降りそうなときの雲など、毎日が雲のてんらん会を見ているようです。

空の高さによって、温度差がありますから、季節や天候によっても、たくさんの種類の雲を見ることができます。

雲は、その時の変化を一瞬でとらえる芸術家ですね。これからもその日にしか見ることができない“雲のてんらん会”を、皆さんで楽しみましょう。

そして、何かを発見しましょう。

空は無限のキャンバス 一瞬たりとも同じ絵をかくことのない空を見あげながら、心と重なりあった瞬間をきりとった、空との交信日記。雲に のんきに つつまれて どんどん まぎれる はぐれる さすらう だんだん かさなる いっぱいの 雲

私たちは 空の底に棲んでいて 泣いたり笑ったり 考えたりかぜをひいたりしている

空のあちこちにも 風は吹いていて 雲が毎日空の地図を かきかえている

雲の世界は 物語に充ちていて その日の心もようと重なりながら 額ぶちのない展覧会

私は目を細めては 空のやぶれめなんか さがしている——いせひでこ

(紹介文/講談社) (矢祭もったいない図書)